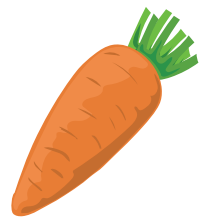


家庭菜園相談室

今月の
テーマ

上手な発芽が最大のポイント！ ～ニンジン～



ニンジンは、β-カロテンやリコピンを豊富に含んだ野菜です。以前はニンジン独特の香りが強く、大人でも苦手な人が多かったのですが、今では子どもの好きな野菜のベスト10に入るほど風味が良くなっています。

ニンジンは、夏まき栽培では暑さと乾燥で発芽が悪くなるので、種をまいた後は、発芽するまで土を乾かさないように気をつけましょう。また、発芽には光が必要ですので、覆土は薄めにすることがポイントです。

作型目安

	品種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ニンジン	ベーターリッチ 向陽二号 恋ごころ	■ ■ ■						●	●	▲	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■

● 種まき ▲ 追肥・中耕・除草・土寄せ ■ 収穫

おすすめ品種

- ベーターリッチ（サカタの種）：家庭菜園でも作りやすく、すっきりとした風味と甘さで人気の品種です。
- 向陽二号（タキイ種苗）：形がよく大変作りやすい、定番品種です。
- 恋ごころ（タキイ種苗）：色・味も良く、ジュースやサラダなど生食にも最適な品種です。

栽培の
ポイント

- ニンジンは、光発芽種子なので、覆土が多すぎると発芽が悪くなるので注意します。
- 種をまいて発芽するまで約1週間は毎日水やりをします。不織布（ベタ掛け）の使用もおすすめです。
- 種をまく前日に、畝に水をたっぷりとかけて水分を含ませると発芽が良くなります。

畑の準備

- 種をまく2～3週間前に完熟堆肥2^{kg}/㎡、苦土石灰150^g/㎡を施してよく耕します。1週間前には化成肥料（畑作名人N-P-K=13-13-13など）100^g/㎡を施します。また、土中の石や土塊などは、ニンジンの歧根（又根）の原因になるので、取り除くか粉碎し深耕します。
- 幅60～70^{cm}、高さ10^{cm}程の畝を作ります。黒マルチを張ると雑草が繁茂するのを抑えることができるのと秋の早い時期での収穫ができます。※発芽を揃えるために、土が湿る雨後にマルチを張ると良いです。

種まき

- 条まきの場合は、条間20～40^{cm}の2条まきとし、深さ1～2^{cm}のまき筋を付けます。種は1～2^{cm}間隔でまき、0.5～1^{cm}ほど土をかけて軽く押えます。
- マルチの場合は10～15^{cm}間隔に穴を開け、ピンの底などでクボミをつけて、1ヶ所に4～5粒の種をまき、0.5～1^{cm}ほど土をかけて軽く押えます。

間引き

子葉が展開したら1回目の間引きを行います。2回目の間引きは本葉2～3枚の頃に行い、隣の株と葉の先端が触れ合う程度に間引きします。3回目は本葉4～6枚の頃、株と株の間隔を10～15^{cm}程度にします。マルチ栽培では、本葉4～6枚の頃に1本立ちにします。

追肥

3回目の間引きをした後、追肥をします。化成肥料（野菜の達人N-P-K=15-14-10など）30～50^g/㎡を条間または畝の肩にまきます。マルチ栽培の場合は、株元から離れたところに棒で、マルチに穴を開けてその中に落とし込みます。

中耕・土寄せ

追肥した後、土の表面を削るように（除草を兼ねながら）軽く耕し根元に土寄せします。土寄せが足りないとニンジンの首が緑（青首）になり見た目が悪くなります。

病虫害

葉が茂ってくると、キアゲハの幼虫が葉を食べて、軸だけ残して丸坊主にしてしまいます。よく観察して捕殺しましょう。

収穫

首のあたりが張ってきたら収穫適期です。大きく育ったものから間引き収穫していきます。五寸ニンジンは、種まきから110～130日程度で収穫です。収穫が遅れると、根が裂けてしまうことがあるので、何本か抜いてみて判断してください。秋作では、そのまま畑に置いて土寄せを多めに掛けたり、抜いて土に埋め込んで保存します。

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。